

第 87 回 研究倫理審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	令和 7 年 10 月 10 日 (金) 16 : 00 ~ 16 : 20
開催場所	Web 開催 (2 階 第 1 会議室)
出席委員	安樂真樹、岩田淳、加納江利子、永井亜希子、伊藤なほ子、那須行信、山代きよみ、奥田晶彦、濃沼政美、山田晋太郎
議題および審議結果を含む主な議論の概要	<p>審議事項は以下のとおりである。</p> <p>【開催審査】</p> <p>1. 実施状況報告 <u>11 件</u> 承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R21-048 嗜銀顆粒性認知症の随伴神経・精神症状と責任病巣に関する神経病理学的研究 < 老年病理学研究チーム：齊藤 祐子 > ・ R21-052 アルツハイマー病・脳アミロイドアンジオパチー脳組織を対象とした アミロイドβプロテオフォームマッピングと高深度プロテオミクスによる プラーク関連タンパク質の探索 < 老年病理学研究チーム：齊藤 祐子 > ・ R21-059 アンドロゲンおよび RNA 結合タンパク質の神経変性疾患における役割 < 老化機構研究チーム：高山 賢一 > ・ R21-060 次世代シーケンサーを用いた乳癌における薬剤感受性・耐性分子の探索的 研究 < 老化機構研究チーム：井上 聡 > ・ R21-061 婦人科がん初代培養細胞を用いた新規治療法の評価および効果予測因子の 探索 < 老化機構研究チーム：井上 聡 > ・ R23-045 DPC における認知症高齢者の日常生活自立度と DASC-21 の関連性 - バリデーション研究 - < 薬剤科：島崎 良知 > ・ R23-048 日常活動度や生活パターン変化を視覚化する試み：手術前後のスマートウォッチ データを用いたパイロット・探索的研究 < 呼吸器外科：安樂 真樹 > ・ R23-056 1 分子計測法による生体分子の高感度デジタル検出 < 加齢変容研究チーム：豊田 雅士 > ・ R24-045 前立腺肥大症に対するツリウムレーザー蒸散術の有用性に関する検討 < 泌尿器科：津坂 恭央 > ・ R24-055 高齢重症患者における、早期経腸栄養の効果：後方視的研究 < 栄養科：都煤 優 > ・ R24-061 内視鏡医のリアルタイム視線誘導による大腸腺腫発見能向上効果検証のための 多施設共同ランダム化比較試験 EYE-tracking technology-based audio guidance of endoScopIst' s Gazing point for improvement of colorectal adenoma detection: A multi-center randomized trial (EYE-SIGHT trial) < 消化器・内視鏡内科：小野 敏嗣 >

【報告】

3. 新規申請

- ・ R25-055 疾患修飾薬（DMT）投与中の CDR 実施上の課題と工夫：心理士の FGD の質的分析
＜精神科：扇澤 史子＞

4. 変更申請

- ・ R18-19 新たに診断された濾胞性リンパ腫患者に関する多施設前方視的観察研究
＜血液内科：橘 盛昭＞
- ・ R20-003 神経変性疾患における網羅定量プロテオミクス解析
＜老年病理学研究チーム：齊藤 祐子＞
- ・ R20-09 J-TRC オンサイト研究
＜脳神経内科：岩田 淳＞
- ・ R20-25 加齢に伴う血管の老化に関連する糖鎖および関連分子の検討
＜加齢変容研究チーム：佐々木 紀彦＞
- ・ R21-038 TOKYO Medical Biobank
＜脳神経内科：岩田 淳＞
- ・ R25-045 当院で施行された腹膜透析導入におけるカテーテル留置術の手術成績と周術期管理
＜泌尿器科：菅原 佳希＞

5. 終了報告

- ・ R21-35 内分泌代謝疾患の体液中エクソソームに含まれるタンパク・マイクロ RNA の同定とエクソソーム診断システムの開発
＜プロテオーム：川上 恭司郎＞
- ・ R22-038 長期生存孤発性 Creutzfeldt-Jakob-Disease におけるプリオン蛋白陽性凝集構造体の検討
＜老年病理学研究チーム：齊藤 祐子＞
- ・ R23-038 高齢発症のうつ病における形態および機能画像の異常と関連する臨床症状に関する研究
＜精神科：松井 仁美＞
- ・ R23-039 高齢発症のうつ病における形態および機能画像の異常と治療抵抗性の関係に関する研究
＜精神科：松井 仁美＞
- ・ R24-054 肺結節 CT 画像検出支援ソフトウェアの診断性能を検証する多施設共同試験
＜呼吸器内科：山本 寛＞
- ・ R24-094 低侵襲アプローチによる人工股関節全置換術における粉末状酸化再生セルローズを使用した周術期出血制御の検討
＜整形外科：宮崎 剛＞

6. 2025 年 9 月度の第 86 回研究倫理審査委員会議事録について提示した。

以上